

家庭教育支援事業

“新”家庭教育宣言



家庭教育委員会

“新”家庭教育宣言とは？
令和6年度 実践報告会



“新”家庭教育宣言 目次

1	会長あいさつ	1
2	“新”家庭教育宣言とは	2
3	“新”家庭教育宣言 取り組み方法・スケジュール（活動費の助成）について	
	（1）単位PTAでの取り組み方法・推進方法について	4
	（2）スケジュール	5
	（3）家庭での目標づくりの例	6
	（4）取り組み確認用フローチャート	7
4	令和6年度“新”家庭教育宣言 事業報告	
	（1）推進活動費を受給した単位PTAの紹介	9
	（2）アンケート結果報告	15
5	令和6年度“新”家庭教育宣言実践報告会 発表校資料	
	（1）みんなで通学路の安全を考えよう！	
	～家庭での会話から生まれた、地域ぐるみの見守りマップ～	
	〔福岡ブロック〕筑紫野市立二日市小学校PTA	17
	（2）HUG☆KUMU ～紡ぎ合う那中プロジェクト～	
	〔福岡ブロック〕那珂川市立那珂川中学校PTA	23
	（3）講 評	
	福岡県教育庁教育振興部社会教育課	
	地域学校協働推進班長 坂本 真一 氏	33



福岡県PTA連合会“新”家庭教育宣言
ホームページ二次元コード

※この事業の運営については、福岡県PTA連合会「小中学生総合保障制度」
「PTA活動災害保障制度」の集金事務手数料の一部を活用しています。

ごあいさつ

PTA会員の皆様におかれましては、日頃より福岡県PTA連合会の諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

また、本年度も“新”家庭教育宣言の趣旨にご賛同いただき、単位PTAにおいて特色ある活動に取り組んでいただいておりますことに重ねて御礼申し上げます。

さて、「教育の原点は家庭にあり！」と言われるように、子どもたちの健全な成長のためには家庭教育の充実は不可欠であります。我が子の成長のために取り組むことが、一番大切なことではありますが、我が子だけでなく地域の子どもたちは地域で育てることも大切です。そうした観点から申し上げますと、各単位PTAにおいて“新”家庭教育宣言に取り組んでいただいていることは大変有意義であると考えます。

現代の社会は、予測困難な時代と言われます。私たち保護者世代の社会と子どもたちを取り巻く環境は、文化が違うと言っても過言ではないと思います。だからこそ、大人の想いを押し付けるのではなく、子どもたちと対話を重ねて共に成長していくことが大切です。引き続き、“新”家庭教育宣言にお取り組みいただきますようお願い申し上げます。

福岡県PTA連合会は、基本方針を「今を見つめ、共に創る～持続可能なPTA活動をめざして～」と掲げ、さまざまな事業に取り組んでいるところです。時代の流れとともに、PTA活動に対する考え方は多様化してきております。しかし、やり方は違えども、「子どもたちのために！」という想いは、不変であると考えます。直面する課題に真摯に向き合い、保護者と教職員がスクラムを組み、福岡県の子どもたちの健全な成長のために各種事業に取り組んでいきます。

今後とも、福岡県PTA連合会にご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

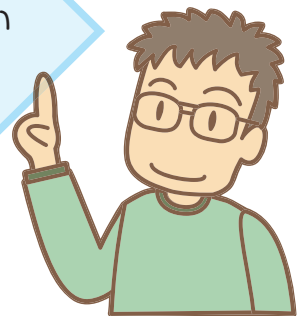
令和7年5月吉日
福岡県PTA連合会
会 長 鬼頭 良典

子どもたちの心の成長と保護者の子育て

子どもたちの 素晴らしい未来のために

子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは、保護者として当然の思いです。子どもたちが大人になってから、自分の力で素晴らしい人生を切り拓いていく力は、家庭でしっかり身につけさせる必要があります。

しかしながら、なかなか思い通りにいかないこともあるのが子どもの教育であり、躰（しつけ）ではないでしょうか。



家庭教育力の向上を目指して

家庭教育は、すべての教育の出発点として、乳幼児期からの親子の愛情や家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣や、他者への思いやりや善悪の判断、自立心や社会的マナー、規範意識などを身に付けていく上で重要な役割を担っています。また、子どもたちがやる気をもって前向きに生きていく力の源となる自尊感情（自分への自信につながる気持ち）や自己肯定感（自分はかけがえのない存在であると思う気持ち）は、家族の愛情に包まれながら家庭内で育まれていく事が理想的であり、これらは子どもたちの心の成長の中で一番大事な根幹の部分ではないかと思います。

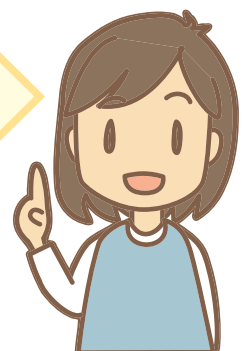


“新” 家庭教育宣言とは

福岡県 PTA 連合会では「家庭での子育て力向上」を目指して、平成 17 年度から『“新” 家庭教育宣言』を行っております。この事業は、家庭において親子で相談しながら努力目標を宣言し、その実現に向けて家族ぐるみで取り組むものです。

この事業・実践の継続により、家庭内での親子の関わり方など、新たな気づきを生み出すきっかけづくりになったと感じています。

福岡県 PTA 連合会としては、各単位 PTA でのニーズに合わせて取り組む、このような活動を最優先事項と考え、今後もこの事業の更なる充実を図って参ります。



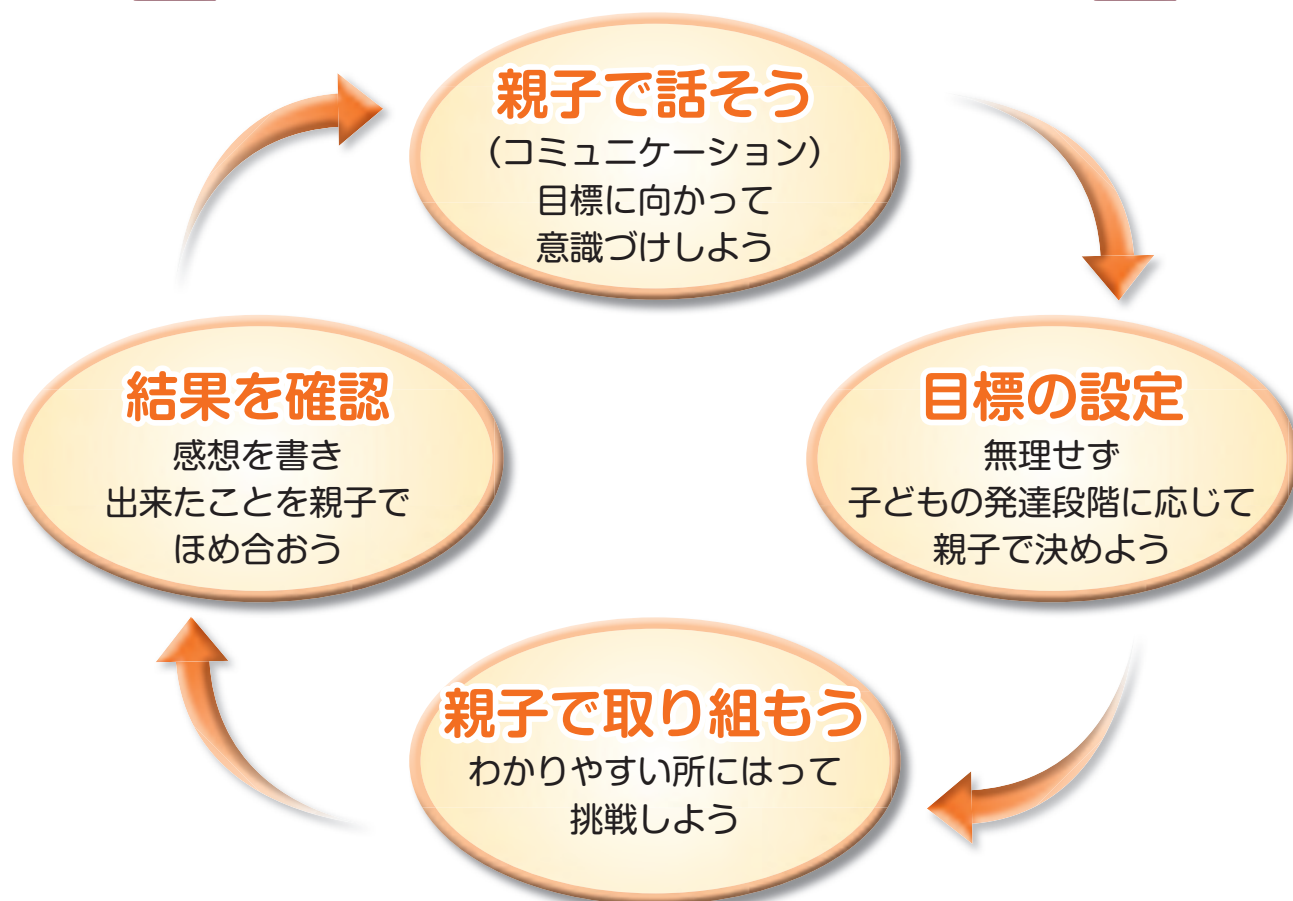
ての意識を高める“新”家庭教育宣言

家庭での子育て力を高めよう

〈家庭応援サイクル〉

子どもの学ぶ意欲、自尊感情、規範意識が向上し
基本的生活習慣を身につける

取り組みの成果を評価して、継続しよう。



“新”家庭教育宣言 取り組み推進方法・

1. 単位PTAでの取り組み方法・推進方法について

①各単位PTAにおいて、PTA会員ひとりひとりの理解を深めて頂けるように、家庭教育の重要性並びに、“新”家庭教育宣言の趣旨、具体的な取り組み方法についての説明文を配付したり、学校内での集会等の機会を活用して説明したりして、周知を図りましょう。

②全学年を対象に、児童生徒の実態や課題に即した実施要領（取り組み事項）を策定し、それに基づいた事業を計画的に推進しましょう。
（必要な場合は推進活動費の申請）

③令和7年度の実組方法や推進活動費の応募方法等、内容に関する詳細については、各学校に発送します“新”家庭教育宣言実施要項及び福岡県PTA連合会ホームページにて6月に配信予定の“新”家庭教育宣言動画説明をご覧ください。



活動費の助成についてのスケジュール

2. スケジュールについて

- ① “新” 家庭教育宣言説明会→福岡県 PTA 連合会ホームページで説明動画を視聴
- ② “新” 家庭教育宣言の取り組みについて（様式1）の提出【6月30日（月）締切】
- ③ 推進活動費（1万円・2万円・3万円）助成の有無を検討



推進活動費 希望する	推進活動費 希望しない
④ 応募届を提出（様式2） 【応募期間 6月10日（火）～7月17日（木）】 ※予算の範囲内で先着順に決定	④ 各単位 PTA で取組実施
⑤ 決定通知・振込 【8月上旬予定】	
⑥ 各単位 PTA で取組実施	
⑦ 報告書（様式3） 決算書（様式4） 単P会長アンケートの提出（様式5） 【提出締切：令和8年1月30日（金）】	
“新” 家庭教育宣言実践報告会【令和8年2月開催予定】	

※推進活動費を受けられた単位 PTA の中から、実践報告会での発表をお願いしております。
県P家庭教育委員会で選考の上、該当校に連絡をしますので、ご協力をお願いいたします。



3. 家庭での目標づくりの例

家庭での 基本的 生活習慣

- ノーテレビ・ノーメディア・ノーゲーム
(〇時～〇時まで見ない)
- 言葉遣いに気を付けよう
- おうちのお手伝いや仕事をしよう
- 早寝、早起き、朝ごはん



家庭での 挨拶運動



- ありがとうを言おう
(1日〇人の人に言おう)
- 親子でハイタッチ
- 大きな声であいさつをしよう

家庭での コミュニ ケーション

- 親子のコミュニケーションの時間を増やそう
- スマホ「夜10時OFF」
- 今日あった出来事(学校や友達)を話そう
- 親子で読書、親子でスポーツ
- 親子で決めよう、我が家のルール



家庭での 食育



- 親子で料理
(料理のお手伝いを1つしよう)
- お弁当の日
- 色の野菜を食べよう

家庭での 学 習

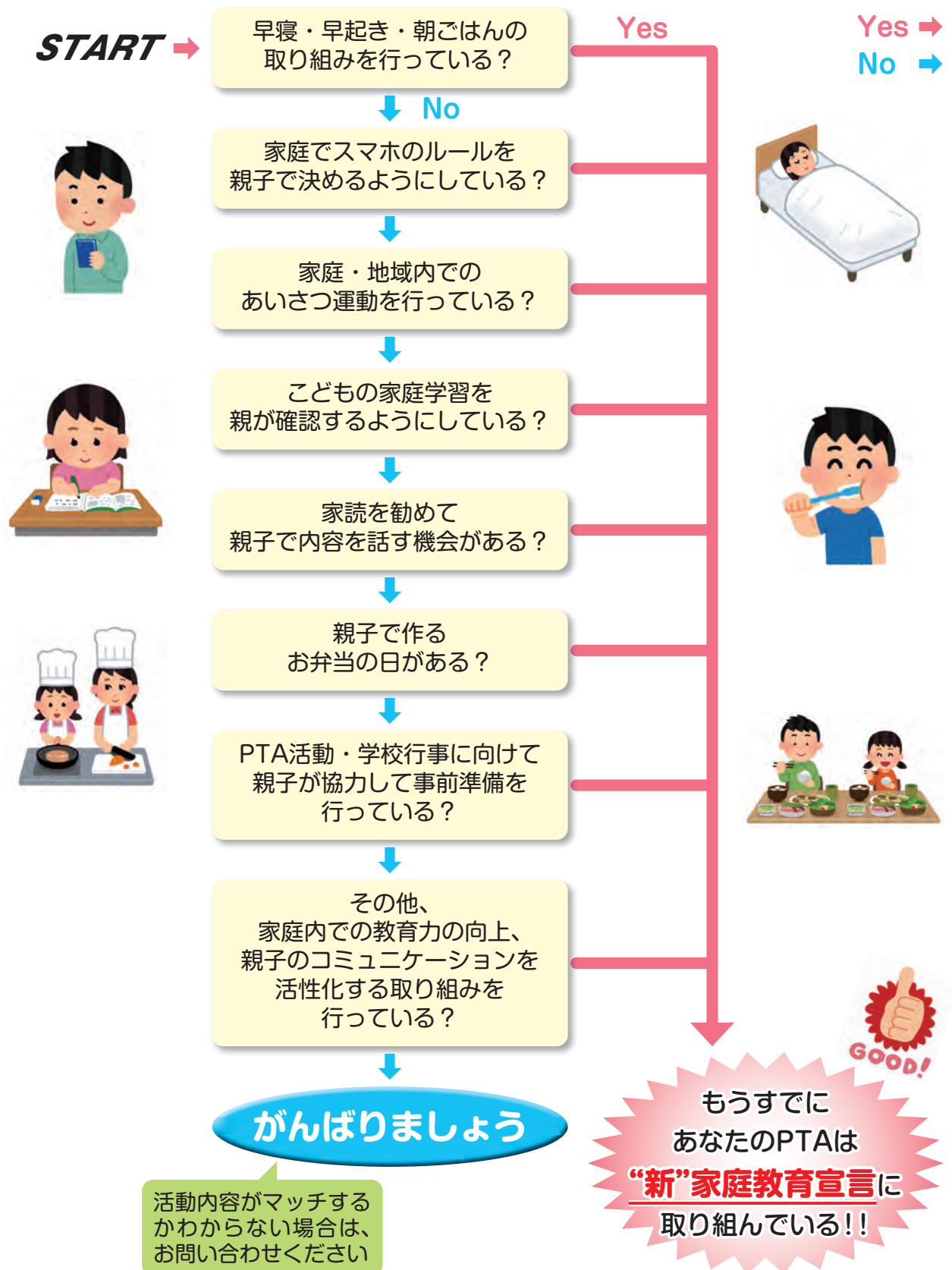
- 宿題をしよう
(家族に確認してもらおう)
- 自学をしよう
- 音読をしよう
- 時間を決めて勉強しよう



4. 取り組み確認用フローチャート

うちのPTAは"新"家庭教育宣言に取り組んでいるのかしら？

※いずれか1項目でも当てはまれば・・・



[illegible]

令和6年度 “新”家庭教育宣言事業報告

- (1) 推進活動費を受給した単位PTAの紹介
- (2) アンケート結果報告

令和6年度“新”家庭教育宣言 取り組み内容一覧
(推進活動費を受給した47単位PTA)

【福岡ブロック】

市町村	学校名	実施項目・テーマ・内容
宗像市	赤間西小	【テーマ】『早寝早起き朝ごはん』 夏休みが終わり、学校生活のリズムを早く取り戻すためにも、「早寝早起き朝ごはん」を意識して、自分の生活を見直してみようという企画。 「小学生のための早ね早起き朝ごはんガイド ステップ2」を利用して、親子で生活リズムを見直し、その改善点を確認し、これからの生活に取り入れられるような取り組みや活動のきっかけを作る。親子のコミュニケーションの場にしてもらう。
	自由ヶ丘南小	【テーマ】出来ることからはじめよう！早寝・早起き・あいさつ ○早寝・早起き・朝ごはんの取組 毎年実施している活動だが、夏休み明けに規則正しい生活を取り戻してもらう為、“早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き”を親子で取組んでもらった。 ○あいさつ運動 学校＋保護者の理解・協力の基、通年で校門前にて朝のあいさつ運動を実施中。
	河東中	【テーマ】中学校生徒とPTA保護者で校内に沢山の花を植えて 地域の方々が行きたくなるような美しい学校環境を整える 生徒・保護者・教諭合同にて、校内美化活動を実施 屋外の4Sや学校敷地内花壇の草取り、耕し、花苗ポットの植え込み 実施日以降は、生徒による草取り、水やり、肥料散布を3月まで実施
春日市	春日小	【テーマ】かすがっ子チャレンジ週間 「下校後の時間の使い方を見直そう」「決めた時間・約束を守ろう」 早寝早起きのために、家庭での時間の使い方を見直してもらう取り組みを実施しました。 子どもの安全に利用できる反面、時間の使い方に支障がでる可能性のあるスマートフォンの所持率についてアンケートも取りました。
	春日中	【テーマ】スマホやインターネット・SNSの利用ルールを守る テーマに沿った内容の標語(川柳もしくは短歌)を生徒から募集することでインターネットやSNSの使用に関する意識を高めてもらう。 優秀作品は紙面にて校内発表を行い、さらに最優秀作品は横断幕にして校門周辺2か所に掲示する。
筑紫野市	二日市小	【テーマ】親子で通学路の安全を考えよう！ ・通学路の現状を把握するためにアンケートを実施。 ・現地を視察し現状を把握しピックアップ箇所を選定。 ・親子で楽しく会話をしながら危険箇所の認識を高めるための仕掛けとして危険箇所の動画を撮影。
太宰府市	水城西小	【テーマ】西っ子元気！チャレンジ「リセット～心と身体をととのえ、みんなで元気～」 夏休み明けに学校生活リズムを取り戻すため、規則正しい生活の項目(早寝、早起き、朝ごはん、テレビ・ゲームの時間制限)＋自分チャレンジ(あいさつ、整理整頓、お手伝い等)の取り組み目標を各自で設定。できた日にはシートに色めりとひと言メモを記入してもらい、7日間のチャレンジ成果を家族で話し合い、取り組みや日ごろの生活について振り返る。
	太宰府小	【テーマ】自己肯定感を高める 自己肯定感を高めるために各家庭で子および親がそれぞれ目標(【子の目標例】今日できたことを親に話す等、【親の目標例】子が実施したプロセスを褒める等)を定め、目標達成に向けて子だけでなく親と一緒に取り組む。取り組み前後では、子に対して自己肯定感に関するアンケートを実施し、取り組みが子の自己肯定感に及ぼす影響について評価を行う。評価した内容は親および学校と共有することで、親は子との関わり方を再認識し、学校は集団生活での子への教育や配慮等の参考とする。

市町村	学校名	実施項目・テーマ・内容
太宰府市	太宰府中	【テーマ】 MICHIZANEプリントで実現する、自分のペースで歩む自主的な家庭学習 PTAの支援で、生徒昇降口に家庭学習用のプリント「MICHIZANEプリント」を供えた「MICHIZANE PLAZA」を設置した。5教科×60種類=300種類のプリントが常時自由にとれる状態にしてあり、生徒は下校時に、今日勉強に使いたいプリントを1枚以上、自分がしたい枚数を持ち帰り、家庭学習に用いて、翌日の朝、担任に提出する。 300種類のプリントを棚から常時切らさないようにするために、印刷用のA4サイズのコピー用紙が必要であったため、本活動費を紙の購入費用の一部に充てた。 保護者は毎日、我が子が実施したプリントを点検し印を押すとともに、我が子と相談して、明日はどの教科のどのMICHIZANEプリントをするかを決めるようになっている。そのため、保護者も我が子がどのように学習を進めているのかを把握するとともに、助言をすることができている。
那珂川市	岩戸小	【テーマ】 TV・ゲームの時間を減らして親子で読書をしよう 毎月違った図書館イベントを行い、色んな角度から多様な本を児童に届けるよう努めている。年間を通して、読書日記・うちどくチケット・多読表彰・毎日新聞クイズ・理系イベントなどを行っている。特に「ビブリオバトる?!」は2018年度から継続しており、読書という個人で楽しむものを、アウトプットする機会として設けている。 (通年の取組み) 毎月の企画展示、読み聞かせ、アニメーション、月1回うちどくチケット発行、先生たちのおススメ本(冊子と展示)、誕生月児童のおススメ本(放送と展示) …等
	片縄小	【テーマ】「家読のススメ ～親子で読むおうち時間」 ・11/7(木)～18(月) 秋の親子で読み聞かせ週間 ・読んだ本の題名や感想を、配布した用紙に記入してもらい提出
	那珂川中	【テーマ】 HUG☆KUMU 育む ～紡ぎ合う那中プロジェクト～ ①e-Naじゃんけんの開催 ②生徒ボランティアによるブースの運営 ③「hug☆kumuプロジェクト」紹介 ④吉本芸人「メリコンドル」によるbaku☆sho(爆笑) タイム
糸島市	前原小	【テーマ】 ①「家読」で、家庭の教育力を向上しよう！ ②「早寝・早起き、朝ごはん」と「親子チャレンジ」で、生活習慣を整え元気に過ごそう！ ・「家読」と「早寝・早起き、朝ごはん＆親子チャレンジ」の活動の趣旨と内容を保護者と児童に伝え、「家読シート」および「早寝・早起き、朝ごはん＆親子チャレンジチェックシート」配布した。 ・夏休み中に、親子で家読時間を設定＆家読用の本を選び、親子でチャレンジする内容を決め取り組んだ内容を「家読シート」に記入してもらった。 ・夏休み明けには起床／就寝時間を決め、親子でチャレンジする内容を決めてもらう。毎日朝ごはんを食べる。「早寝・早起き、朝ごはん＆親子でチャレンジチェックシート」に記入する。 ・それぞれのシートを回収し、取り組みの結果を取りまとめた。
	南風小	【テーマ】 ほめあいっこ大作戦 文書を配布し、ご家庭で、子どものいいところをお家の方が記載、お家の方のいいところを子どもが記載し、お互いが見て会話することであったかい気持ちになる企画。

【北筑後ブロック】

市 町 村	学校名	実施項目・テーマ・内容
朝倉市	大福小	【テーマ】子ども達が基本的な生活習慣を身につけ、生き生きと生活するように“新”家庭教育宣言の趣旨を受け、『チャレンジ！親子宣言週間』に取り組み、大福小 PTA として家庭教育力の向上に努める。 ○年 2 回の“新”家庭教育宣言の取り組みで、比良松中学校区である比良松中、朝倉東小、大福小の 3 校で目標を共通理解して取り組んだ。保護者への呼びかけは、PTA 時の保護者分科会でお知らせし、実施後は学級委員さんで集計、学校でとりまとめて保護者にお知らせした。そして、学級委員会の中で、課題を見出し、次年度に引き継げるよう PTA 資料にも記載した。 ○教育講演会も 3 校連携で取り組んだ。講話の中で、「できないことを嘆くよりできることを認めていく」や『『ようがんばっているね』という共感的理解が子ども達の命の居場所に繋がっている」等、子育ての道しるべとなる温かい視点やメッセージ等学びの多い講演であった。 ○広報委員会が発行する PTA 新聞では、児童の活動の様子や地域の活動の様子、教育講演会の様子を紹介した。また、PTA 活動への理解と協力が周知徹底できるように工夫し、大福小学校校区在住の全世帯に配布した。
朝倉郡筑前町	東小田小	【テーマ】日本の正月行事「どんと焼き」を地域住民と共に継承していこう 日本のお正月の伝統行事「どんと焼き」がだんだんと見られなくなってきた昨今、子供たちにその行事の意味を知ってもらうことと行事を継承していくために、地域住民とおやじの会、PTA で「どんと焼き」を開催。子供たちに興味をもってもらうために「逃走中」も同時開催。
小都市	のぞみが丘小	【テーマ】メディア時間を減らし、家庭での学習時間の定着 (各家庭でルールを決め、メディアルールを守り、家庭学習の強化を行う) 1 週間チャレンジ、早寝早起き朝ごはん、挨拶運動、人権学習参観を毎年継続的に実施することが出来ている。
	御原小	【テーマ】早寝・早起き・朝ごはん、メディアコントロール（5・6 年生） 各家庭にチェックシートを配付し、保護者と児童で話し合って目標をきめてもらい、できたかどうかをチェックしていく。 ・全児童：寝る時刻、起きる時刻、朝ごはんを食べたか ・5、6 年生：メディアコントロールに関する目標（SNS に触れる時間、ルール等）
	三国中	【テーマ】親子で学ぶコミュニケーション 保護者向け研修会の実施（三国中学校 PTA 研修委員会） 期日：2024 年 11 月 14 日（木） 会場：三国中学校多目的室 内容：演題 ひまわり先生の子育て実践法 講師：米倉けいこ氏（臨床心理士、公認心理士）
久留米市	江上小	【テーマ】体と心を育む あいさつ&朝ご飯 ○「生活習慣定着プロジェクト」は、家庭における子どもたちの生活を見直し、よい生活習慣を身につけるために、学校と家庭が協力して 2 つの一斉の取組を行い、振り返りや価値づけを行った。 ○「成人教育講座」は、前半は親子で、後半の保護者のみで講演を聴き、食育の大切さを学んだ。 ○「全体懇談会」は、これまでの PTA の取組を共有したり、悩みや解決策を話し合う場になるように PTA が主体となり内容を考えたり、当日の進行を行ったりした。
	南小	【テーマ】みんなでハッピープロジェクト！ 子どもたちの自己肯定感を高めることを目的に、家庭や学校でハッピーになれる言葉を掛け合う取り組みを実施。 （取組方法） ①家庭内、学校内でみんながハッピーな気持ちになれる言葉を掛け合う。 ②ハッピーな気持ちになれる言葉をあげた人、もらった人はチャレンジシートに記録する。

市 町 村	学校名	実施項目・テーマ・内容
久留米市	三潞小	【テーマ】『家庭と学校で連携し学習習慣と学力の定着を図る ～家庭学習チェック・スローメディア週間の取り組み～』 ○「家庭学習チェック週間」中に、保護者は家庭学習に対する意欲を高める励ましの声かけや称賛を行う。また、集中して学習を行うためのルールを決めたり、環境整備をしたりする。チェックシートにコメントや評価も書く。 ○メディアの使用時間を減らすために、家庭学習を始める前は、「テレビ・ゲーム・スマホ OFF、勉強 ON」を合言葉に「スローメディア週間」を設定して、家族とふれあう時間を増やす。
	長門石小	【テーマ】長門石小学校 協働共育 第10か条 校区みんなの力を合わせ、家庭教育力の向上を目指します。 ○6月10日～6月14日 ○9月6日～9月12日 ○1月15日～1月21日 上記期間において一週間子どもたちの家庭学習の記録をカードに記入する。 児童会、PTAと協力して家庭学習習慣・あいさつの定着運動に取り組む。
	犬塚小	【テーマ】家庭での子育て力向上！ ～「家庭学習がんばり週間」「早寝・早起き・朝ごはん」を通して、 学習・生活習慣の確立～ ・三潞中学校と連携し中学校の定期考査に合わせて、年3回の「家庭学習がんばり週間」に親子で取り組む。 ・長期の休み明けに生活リズムを整えるため、「早寝・早起き・朝ごはん」の強化週間を実施する。

【南筑後ブロック】

市 町 村	学校名	実施項目・テーマ・内容
三潞郡 大木町	大莞小	【テーマ】大莞まつりを通じて、地域との交流を深め、郷土愛のある子どもたちを育てる。 子どもに祭りへの主体的な参加を促す(出し物や出店、作文・作画への参加)。 大莞まつりのうちわを作成する。今年32回を数える大莞校区の夏の風物詩となっている『ふるさと大莞まつり』で、子どもの発表の場と、地域の方々との交流を行うことで、人前に立つ経験や郷土愛を養う。まつりの準備等、家庭でコミュニケーションが増える。 地域の方との関わりも、まつりを通して深まっていく。
大川市	大野島小	【テーマ】家庭教育強化月間 ～生活・学習習慣チャレンジカードに取り組もう～ 子どもと保護者が生活・学習習慣チャレンジカードの取組を通して、家庭内での使い方やルール(時間や場所等)を決め、それを守ることができるようにする。
	川口小	【テーマ】“スマイルプロジェクト”笑顔で「おはよう」「ありがとう」のあいさつをしよう ・親子でめあてを決めて一週間取り組み、一緒に振り返りを行った。 ・“笑み活”として、保護者に月曜朝は「笑顔」で「ハイタッチ」をし、元気な声で「行ってらっしゃい」と言って送り出してもらう取組を行った。 ・学年PTAを実施し、笑顔が増える「親子ふれあい運動」を行った。
	木室小	【テーマ】つくろう 親子の時間 ～すすんで手伝い・親子のコミュニケーション～ 生活・学習チャレンジ週間を中心に、親子での時間を積極的ににつくことに取り組む。
柳川市	城内小	【テーマ】家庭学習強化週間・うち読の取組 ・前期に1回、長期休業(夏休み・冬休み)後に1週間の家庭学習強化週間を設定し、親子で家庭学習の時間や早寝・早起きの時刻等を決めて、各自の目標を達成できるように取り組む。 ・親子で読書をする時間を作るために、「うち読週間・月間」を設定し、親子のコミュニケーションを図る。
	豊原小	【テーマ】「スマイルチャレンジ」 年3回のスマイルチャレンジ週間の準備・児童への放送・実施、集計スマイルチャレンジ通信発行(年3回)、パーフェクト賞の表彰式 保護者対象の教育講演会の企画・運営

市町村	学校名	実施項目・テーマ・内容
大牟田市	白川小	【テーマ】早寝・早起き・朝ごはん週間 「早寝・早起き・朝ごはん」で、各自布団に入る時刻と、朝起きる時刻を決め、親子で基本的な生活習慣の定着を目指した。9月、1月の年に2回に7日間「早寝・早起き・朝ごはん取組週間」を設定し、白川小新家庭教育宣言として取り組んだ。
	上内小	【テーマ】 ・ 明るい挨拶の実践 ・ 食事の時はテレビを消す、ありがとうの日と親子で読書の実践 ・ 家庭、地域、学校が一体となった心豊かで健康な子どもの育成 ・ 「早寝、早起き、朝ごはん」の実践 保護者が校区内で割り振られた5カ所で登校する児童の安全を守りながら挨拶運動を実施した。 (毎月25日計9回)
	駛馬小	【テーマ】どんな行事があるのかな?地域行事スタンプラリー 親子で一緒に楽しもう 地域行事に親子で積極的に参加し楽しむために、対象となる地域行事6つを指定し、スタンプを3つ集めて景品をゲットする取組

【北九州ブロック】

市町村	学校名	実施項目・テーマ・内容
遠賀郡 水巻町	猪熊小	【テーマ】児童の家庭学習の習慣化を目指した「家庭学習強化週間」の取組 中学校の定期考査に合わせて家庭学習強化週間を設定し、第1回は「家庭学習」「ノーマメディア」「読書」「朝ごはん」の項目で、第2回は「早寝」「早起き」を加えて行った。家庭学習については目標時間を、早寝早起きについては寝る時刻、起きる時刻を家庭で話し合っ設定してもらった。ノーマメディアについては、学習時間は集中できるようにテレビ・スマホやゲームをしないようにした。
	杵小	【テーマ】児童の学力向上を目指した家庭と学校との連携による「家庭学習強化週間」の取組 中学校の定期考査に合わせて家庭学習強化週間を設定し、「ノーマメディア」「読書」「朝ごはん」の項目で目標を設定した。全体の目標や振り返りなども記入するようにした。また、科学教室においては、講師を招いて「ジャイロブレン」ということで、空気の流れや空気抵抗について、いろいろな実験を行い、発見や気づきを大切にしたものにした。
遠賀郡 遠賀町	広渡小	【テーマ】「早寝・早起き・朝ごはん」とチャレンジカードで学力アップ 家庭学習チャレンジカードに「通信機器の使い方」「朝食摂取」「就寝と起床」「学習時間や内容」等の評価項目を設け、子ども自身が評価したものを、保護者と担任でチェックすることで、保護者と学校が連携して子どもを支援できるようにした。
	島門小	【テーマ】親子交流・地域交流（「学校美化活動」） 6年生児童と保護者が「学校奉仕活動」の一環として、プランターや花壇に花の苗を植えた。
鞍手郡 鞍手町	古月小	【テーマ】「勉強に、遊びに、スポーツに、一生懸命」 児童・保護者 → 手作業による除草作業 育成会会員・学校 → 草刈り機による除草作業

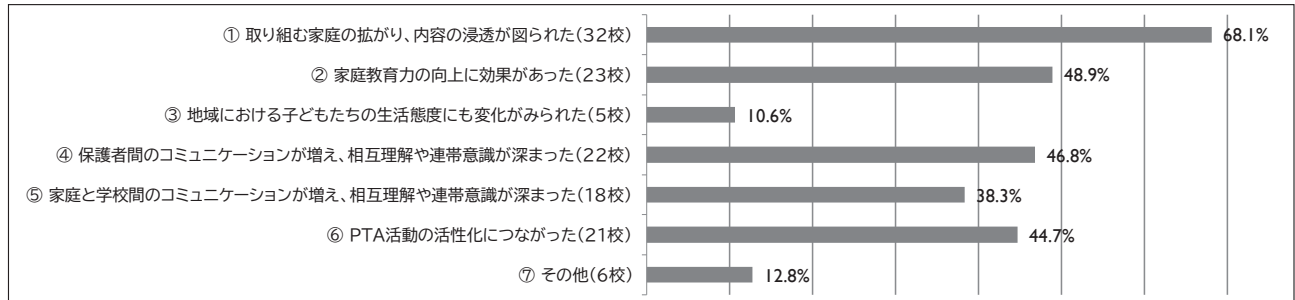
【京築ブロック】

市町村	学校名	実施項目・テーマ・内容
京都郡 みやこ町	犀川小	【テーマ】親子クリーン活動 自分たちが普段利用している学校の清掃活動を通して、勤労の価値や必要性を感じることができるようにするとともに、子どもたちと保護者がともに清掃活動を行うことで、保護者は我が子の実態を知ることができ、きれいな学校をみんなで保っていこうとする心情を養う。
	伊良原小	【テーマ】家庭学習を充実させよう ○各学年に応じた課題と自主学習の取組（休日を含む目標時間の設定） ○SNSとのかかわりについて見直す（休日を含む目標時間の設定）
	伊良原中	【テーマ】家庭学習を充実させよう ○学年に応じて、期末考査の取組の復習、習熟度診断テストの復習、自主学習の取組などの家庭学習
	勝山中	【テーマ】ノーメディアチャレンジ 各定期考査前に生徒が、各家庭でワークシートを記入し、保護者がコメントを記入、そのワークシートを学校が集約
豊前市	角田小	【テーマ】鍛えてほめて伸びる角田っ子の育成 親子の約束カード週間の取組（年3回）と地域との連携・交流活動
	宇島小	【テーマ】「NOテレビ・NOスマホ」推進強調期間の取組 ・取組期間中、メディアの時間をなくしたり、減らしたりするなど、家庭での時間の使い方を考えさせた。 ・親子で話し合い、曜日ごとにメディアの目標時間を設定し、空いた時間を読書を中心に学習や手伝いの時間に使うようにした。
築上郡 上毛町	南吉富小	【テーマ】早寝・早起き・朝ごはん 親子ふれあい運動「新家庭教育宣言」 ○「親子ふれあい運動」早寝・早起き、朝ごはんの取組 学期の始めに、休み明けの生活リズムを取りもどすために、早寝・早起き・朝ごはんの取り組みを行った。早寝・早起きのために目標時間を決め、各家庭で1週間がんばることを決めて取り組みを行った。 ○親子ふれ合い活動の取り組み 親子間の交流や保護者同士の親睦をはかるために、親子ふれあいの取り組みを行った。親子でスポーツや制作活動を行い交流を深めた。 ○親子除草作業・修繕活動 学校の安全・安心の環境作りのために、親子での除草作業やプールのすだれの修繕を行った。 ○ノーメディアの取り組み 上毛町PTA連絡協議会の取り組みとして、小中連携で年3回ノーメディア週間に取り組んだ。テレビの視聴時間やゲームの使用時間を見直し、家庭での取り組みを3日間行った。 ○PTA研修会 スマホやゲームの依存などインターネットの適切な利用について講演をしていただいた。 ○その他研修会 令和7年1月18日（土）学ビバ!! FUKUOKA2024福岡市大会（2名参加） 令和7年1月19日（日）青少年健全育成講演会（6名参加）
	友枝小	【テーマ】「早寝・早起き・朝ごはん」と「NOメディア」の取組 「早寝・早起き・朝ごはんの取組」（年2回）全校児童 「ノーメディア週間の取組」（年3回）全校児童 「PTAの取組等の新聞発行」（年2回）全校児童・CSに配布 「友小家庭教育だより発行」（年2回）全校児童・CSに配布
築上郡 築上町	上城井小	【テーマ】築上町の特産品である「きくいも」をたくさん作って、たくさん売ろう ①きくいも栽培 畑づくり、種いも植え、販売活動等を地域の方や保護者と行った。 ②きくいもをたくさん売って有名にするために… きくいものCM作り、チラシ作り、旗づくり等を行った。 ③きくいもをたくさん食べてもらって有名にするために… きくいも料理を多くの方々に知ってもらうために、レシピの作成をし、保護者に配布したり、きくいもの販売で配布したりした。つくったレシピは、町内の保育園に提案し、給食メニューとして取り入れてもらった。

令和6年度“新”家庭教育宣言 単位PTA会長アンケート結果報告

(対象：推進活動費を受給した47単位PTA)

問1 単位PTAとして「“新”家庭教育宣言」へ取り組んで、良かったことは何ですか？（複数回答可）



【その他の回答】

- ・地域の方にPTAの意識の高さが伝わった。
- ・保護者の子育ての知識が向上した。
- ・親子の会話が増えた。
- ・笑顔が増えた。
- ・助成金で図書を購入し、親子で読書の機会を増やすことができた。
- ・PTA活動として地域と学校との連携を深められ、子供達にとってよりよい環境を整えることができた。

質問2 今回の推進活動費により、ステップアップできたことは何ですか？

- 親子で生活リズムを見直し、これからの生活に取り入れられるような取り組みや活動のきっかけを作ることができた。
- 児童数減による会費収入減少傾向に伴い、多くの活動を縮小せざるを得ない状況下だったが、これまで続けてきた西っ子チャレンジと餅つき集会活動を継続することができ、家庭内のコミュニケーションの向上につながった。また、開催時期の都合で推進活動費の対象に含んでいないが、今年度から新たに子ども祭を開催（2月）することとなり、子どもたちと家庭・地域とのつながりがさらに広がると期待している。
- ・家庭での会話時間の増加
- ・課題が見えたご家庭の学校との情報共有
- 講演会で、子どもへの共感的理解の仕方などを講話いただき家庭教育の向上につながった。
- PTA、おやじの会および地域の方々とコミュニケーションが図れた。また他校PTAからの見学、参加もありそこでのコミュニケーションも生まれた。
- 毎回応募させて頂いておりますが、浸透し始めており、次年度に活かせる案が出始めておりますし、幅が広がってきている感じが致します。今後も継続していきたいと思っております。
- 家庭教育力の育成は子どもの家庭学習習慣に直結するものであり、本校の大きな課題であることから、3年間連続して取り組んできている。ここでの活動費としては使用しなかったが、5年ぶりに教養講座を開催した。講師として小崎恭弘さんを「子どもの心に響く叱り方ほめ方 ～子育ては3勝7敗でいいのです～」を開催した。参加人数は20名程度であった。次年度は、家庭教育宣言の活動費をもっと有効に活用し、保護者啓発にあたりたいと思う。
- 子どもたちの自己肯定感や自主性の向上、保護者の意識向上につながった。
- いただいた推進活動費を活用して、家庭学習で取り組んできたノートなどを階段の踊り場の掲示コーナーに掲示することにより、子どもたちの学習意欲を高めたり、家庭学習の質を向上させたりすることができた。
- 家庭学習強化週間、家読の取組を継続することができた。その結果、親子でのコミュニケーションの時間が増え、子どもの成長を感じることができた。また、家庭内における生活リズムを見直すことができた。さらに、自分のできるが増えた。
- 子供たちや保護者と地域の方々との繋がりを広げることができた。
- 有償講師を招聘することはできませんでしたが、活動自体は例年通りの活動ができました。今年度は、インフルエンザ、コロナの影響でPTA活動費が十分でなかったため、推進活動費があったことで、家庭学習強化週間にかかる費用をすべて推進活動費から使うことができ、大変助かりました。お蔭様で活動自体は例年通りの活動ができました。
- 家に帰ってからの学習時間を親子で考えることで生活を見直すことができた。SNSとの関わりについて、講演もあったので、健康への影響や、危険性について親子で考えて取り組むことができた。ただSNSは範囲が広いので、各家庭でどこまでを範囲にして取り組んだらいいのだろうかと思った。
- 考査の時に意識してSNS等スマホを見る時間が少なくなった。学校で取り組んだので、友だちの間でのライン等も少なかったように思う。取組の間、学習時間の目標を意識して頑張っていた。
- 中学校や家庭、地域と連携して行う行事等において活動の充実が図れた。
- ・親子ふれ合い活動（昔あそび、親子制作活動、ドッジボール大会等）が充実できた。
- ・夏休みのPTA協力活動が充実できた。（プールの周りのすだれ貼り、ペンキ塗り等）
- 「早寝・早起き・朝ごはんの取組」（年2回）と「ノーメディア週間の取組」を行い、その結果をふまえてPTA広報誌や友小家庭教育だよりを定期的に発行することで、それぞれの取組に取り組む家庭が拡がり、内容の浸透が図られました。
- きくいもの販売活動時に、子どもたち手作りののぼり旗やチラシを使ったり、親子でレシピの開発に取り組んだりすることができた。

[illegible]

令和6年度
“新”家庭教育宣言実践報告会

【実践報告1】

みんなで通学路の安全を考えよう！

～家庭での会話から生まれた、地域ぐるみの見守りマップ～

(福岡ブロック)

筑紫野市立二日市小学校PTA

みんなで通学路の安全を考えよう！

～ 家庭での会話から生まれた、地域ぐるみの見守りマップ ～

(福岡ブロック) 筑紫野市立二日市小学校PTA

Ⅰ はじめに

(1) 二日市小学校の紹介

二日市小学校は、筑紫野市の北部に位置する、令和5年に開校150周年を迎えた生徒数800人余の伝統ある小学校です。この二日市地域は、かつて万葉の里・博多の奥座敷として栄えた二日市温泉や緑豊かな天拝山などの豊富な地域資源を有しながら、充実した鉄道網・道路網による交通の利便性も確保された、自然と都市とが共生するまちとして知られています。

本校は長い歴史の中で、地域の方々と共に様々な行事や出来事を重ねながら、教育・活動の拠点として愛され育まれてきました。現在も、「子どもたちの大切な学びの場」とあるとともに、「地域や社会体育における貴重な活動の場」としても広く活用されています。

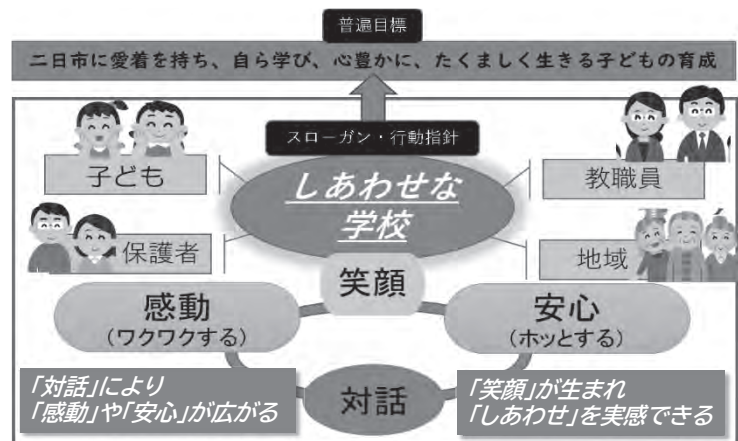


(2) 関わる人全てが「しあわせな学校」を目指して

二日市小学校は、「二日市に愛着を持ち、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」を普遍目標に掲げ、「しあわせな学校」を目指した学校教育に取り組んでいます。

そのために、コミュニティ・スクール（地域運営協議会制度）でもある本校は、学校が地域の方々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「共育」を実践することで、「共育」される児童だけでなく、「共育」する地域、保護者、教職員全てが「しあわせ」を実感できる学校を目指しています。

地域と連携した教育活動としては、米作り（田植え、稲刈りなど）や昔遊び、二日市紹介マップの作成などがあり、地域の様々な方にご協力いただきながら、子どもたちの学びを進めています。



(3) 二日市小学校 PTA の活動

食育講座「身体が喜ぶ米や野菜の食べ方教室」

自ら栽培する無農薬野菜を使うカフェも運営されている先生をお招きして実施。児童 25 名、保護者や幼児 24 名、教員 2 名の計 51 名もの方にご参加いただきました。

先生は、玄米と白米の栄養成分の比較や「生長点に含まれているファイトケミカルを食べて免疫力を上げよう」といったお話をされ、参加者からは、野菜の味の濃さに驚く声などが聞かれました。



体操服バザー

卒業生の保護者などから体操服などの寄付を募り、4月の授業参観日に合わせて体操服バザーを開催しています。例年多くの方にご来場いただく、大盛況のバザーとなっています。



市民体育祭 校区大会への参画

筑紫野市民体育祭 二日市小学校区大会には、事前の運営委員会から参画。前日準備や当日の運営には多くの会員が参加しています。

子どもも保護者も、選手としても大活躍！体育祭を大いに盛り上げ、地域の方からも喜ばれています。



情報発信「PTA だより」、「Instagram」、「あんしんメール」

すべての PTA 活動は、地域の方など周りの方のご理解あってこそ。効果的な活動を円滑に行うため、今年度は特に情報発信に力を入れています。「PTA だより」に加え、はじめたばかりの「二小 PTA インスタグラム」にも、試行錯誤しながら取り組んでいます！

今年度は新たに、保護者や地域の方が受信できる「あんしんメール」において、各地区の夏祭りの日程をお知らせし、参加を呼びかける取組も行いました。



2 “新” 家庭教育宣言の活動

(1) テーマ



みんなで通学路の安全を考えよう！

～家庭での会話から生まれた、地域ぐるみの見守りマップ～

これが、“新” 二小通学路危険箇所マップだ！



「その渡り方、危ない！」アピール



二次元コードを読み取ると、正しい渡り方の動画が！



地域の方、先生方も多数出演



PTA 会長自ら、熱のこもった演技指導★



二次元コードを読み取って動画を見てみよう！

※音量注意



ぜひ、実際の動画も
ご確認ください！

(2) 取組のきっかけ

校区内に新しい道路や建物ができたことで、6年以上前に作成した校区危険箇所マップの内容が古くなってきており、PTAとしても更新の必要性を感じていました。

また、保護者の負担軽減等のため、保護者が登校時に街頭に立つ、いわゆる「旗振り当番」を今年度から廃止しており、通学路の安全性を担保するための取組についても模索しているところでした。

そこで、せっかくマップを更新するのであれば、

- ・ 家庭での会話のきっかけになるようなものとして
- ・ 登下校の安全について、子どもたちに興味を持ってもらえるマップにしたい
- ・ 子どもたちの見守りにご協力いただいている地域の方と連携し、地域の方と子どもたち、保護者間で顔の見える関係性をつくるための取組にしたい

という意見が出され、さまざまな角度から検討した結果、「“新”二小通学路危険箇所マップ」の構想が生まれました。

(3) 取組の流れ

①「ながら見守り強化週間」を実施

通学路の危険箇所について、家庭での会話を呼びかけました。また、同時にアンケートを実施して、話された内容などをお尋ねしました。



アンケート回答がこんなに！

②通学路の危険箇所を洗い出し

①で寄せられたアンケートの内容を精査し、改めて危険箇所の洗い出しを行いました。

危険箇所だけでなく、見守ってくださっている地域の方への感謝なども書かれていたことが印象的でした。

横断歩道によく立って下さる方、毎日本当にありがとうございました。事故なく通学できています。

JR西口が出来て車通りも多くなりましたが、子どもたちが気を付けながら渡っていてえらいなと思います。子どもより、はやく元気にあそびたいくれる旗持ちの方に改めて感謝だねと子どもと話が出来ます。

<今回実際に寄せられた声>

③通学路における危険箇所マップと動画を作成

②で洗い出された特に危険な箇所については、地域の方や保護者などの協力を得て「危険事例の再現」「正しい通行方法」などの動画を作成するとともに、マップ上の該当箇所に、その動画が見られる二次元コードを掲載しました。

④マップを印刷して配付、インターネット上にも公開

マップを印刷して全家庭に配付するとともに、自治会や公民館等にお渡しします。また、インターネット上でも公開予定です。



(4) 実際に取り組んでみて

今回の動画は、子どもたちが自分から見たくなり、親子の会話のきっかけになる、ユーモアのあるものとなるよう演出し、役員だけでなく様々な方にご出演いただきました。



このことにより、日ごろから通学路の見守りやまちづくりなどに関わってくださっている大人の顔を子どもたちが認識し、お互いにあいさつや声掛けがしやすくなるような「顔の見える関係性」の構築にも資するマップになったと考えています。

○実際に取り組んだ役員の感想

- ・旗振り当番の廃止以降、なかなか見守り活動ができていなかったが、マップの作成で危険箇所が具体的に見えてくると、子どもたちの安全のためにもっと積極的な見守り活動が必要だと強く感じた。
- ・動画撮影中にもヒヤリハット事例に遭遇し、いつ事故が起こってもおかしくないことを実感した。

○保護者の反応

- ・改めて、通学路に地域の方や学校の先生が立ち、見守ってくださっているありがたさを感じた。
- ・子どもの意識を変えるため、登校時に玄関で目を見て「車と自転車には気を付けてね」「おきな声であいさつしてね」と声掛けするようになった。
- ・子どもと一緒に楽しく動画を見ながら、通学路の危険箇所を確認できてよかった。

3 まとめ

今回、二日市小学校 PTA は、「子どもたちの心の成長と保護者の子育ての意識を高める“新”家庭教育宣言」を推進するため、本取組を行いました。幸いにして子ども、保護者、地域の方々などからの反応も良く、当初の目的である「家庭での会話」から生まれた「子どもに興味を持ってもらえるマップ」を通じた、様々な主体の「顔が見える」取組とすることは概ね達成できたと考えます。

この取組を一回限りのマップ作成として終わるのではなく、今後は、新入学期の安全教育への活用や内容のアップデートなどを通じ、関係者全てが「しあわせ」を実感できるような活動として継続していきたいと考えています。

二日市小学校オリジナルキャラクター「二日市ファイブ」



ふ…ふるさとを愛する子ども
つ…強くたくましく、健やかな子ども
か…考え、学びあう子ども
い…いつくしみ、おもいやる子ども
ち…力を合わせ、ともに働く子ども



二日市小学校が目指す「ふ・つ・か・い・ち」の子ども像をイメージして、在校生からデザインを募り、投票で選ばれたものをもとに平成 28 年に誕生しました。

[illegible]

令和6年度
“新”家庭教育宣言実践報告会

【実践報告2】

HUG☆KUMU

～紡ぎ合う那中プロジェクト～

(福岡ブロック)

那珂川市立那珂川中学校PTA

HUG☆KUMU

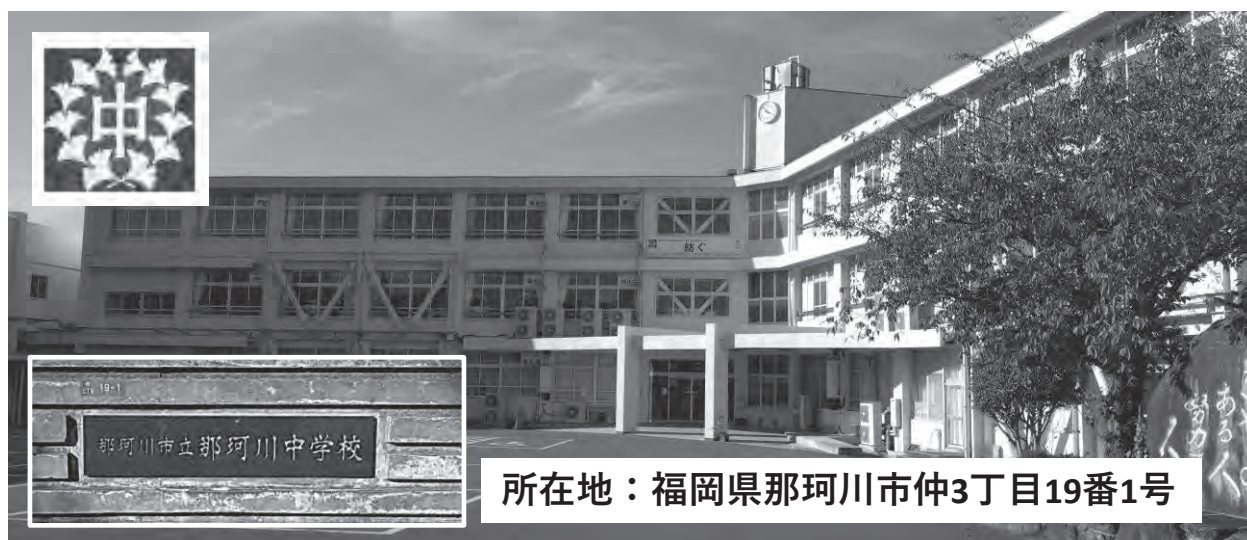
～ 紡ぎ合う那中プロジェクト ～

(福岡ブロック) 那珂川市立那珂川中学校PTA

1. 那珂川中学校について

那珂川市には現在、那珂川中学校、那珂川南中学校、那珂川北中学校の計3校の中学校があります。

その中で那珂川中学校は、昭和41年4月1日天徳中学校・南畑中学校を統合して発足しており、現存する3校の中では最も歴史の長い中学校となります。（昭和55年4月に那珂川南中学校が開校、平成16年4月に那珂川北中学校が開校しました。）※平成30年10月1日に那珂川市となりました。



2. 那珂川中学校キャラクター「Nappy」について

平成25年度の1年生が作成してくれたキャラクターで、全体的な形は、那珂川市の特産である「卵」の形、そして頭には、市の木である「ヤマモモ」がついています。メイクは、市の鳥「かわせみ」をイメージして、水色の体は、那珂川の美しい水表現しています。



Nappy（ナッピー）



やまもも

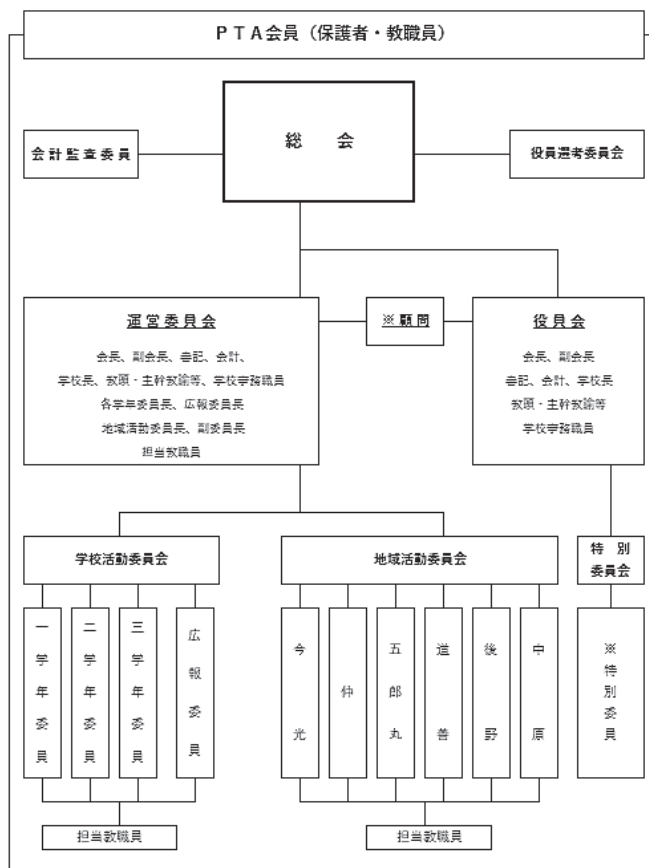


かわせみ



裂田溝～さくたのうなで～
(R2.6.19日本遺産認定)

3. 那珂川中学校PTAについて



※顧問、特別委員には非会員で委嘱を受けたものを含む

令和6年度におけるPTAの組織体制は次のようになっており、5年度、6年度においては大きな改正を行うなどして、「未来へ持続可能なPTA」を目指し活動を行っています。

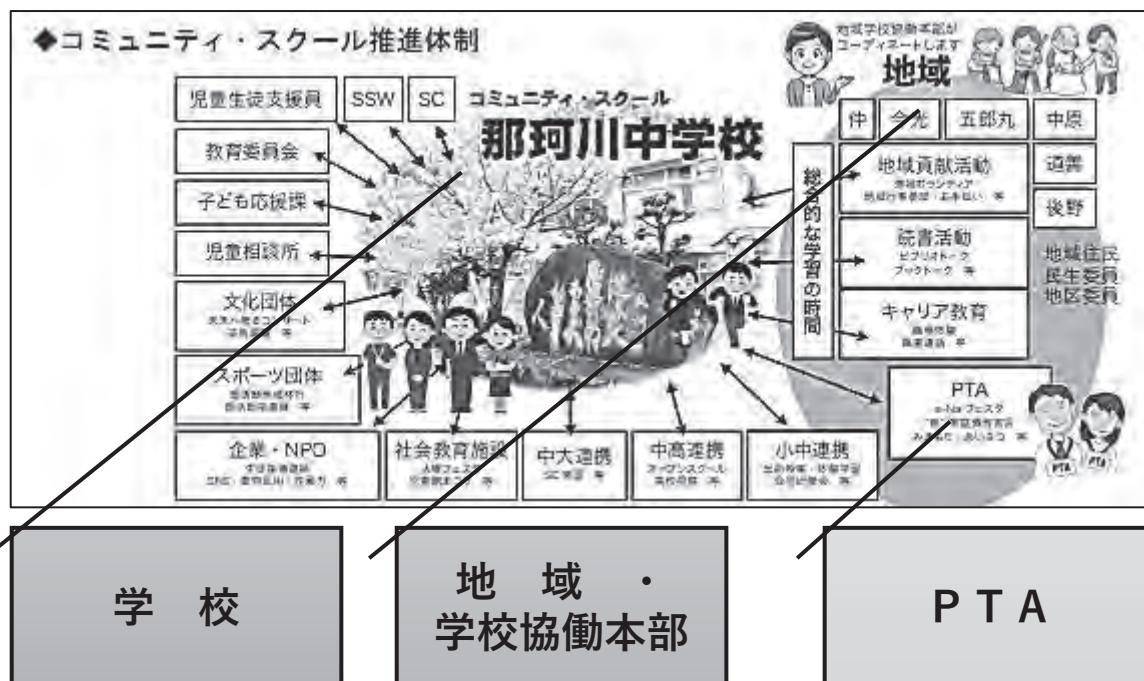
令和6年度
【PTA活動スローガン】
多様性を推進力に
みんなの個性が
表現できる組織へ

3つのCを大事にした活動方針
Change
Challenge
Communication



4. コミュニティスクール推進構想

地域に開かれた学校づくりとなるように「学校運営協議会」の活性化を図り、コミュニティスクールの推進に努めています。



5. テーマについて

子どもたちを中心とした様々な方との繋がりや、想いの結びつきなどを大事にするイメージで、今回のテーマを設定しました。



6. “新”家庭教育宣言の活動内容

A. “新”家庭教育宣言の推進

- 「基本的生活習慣」の向上を目的として家庭内において取り組みを計画・実施し、結果については集計し報告しました。

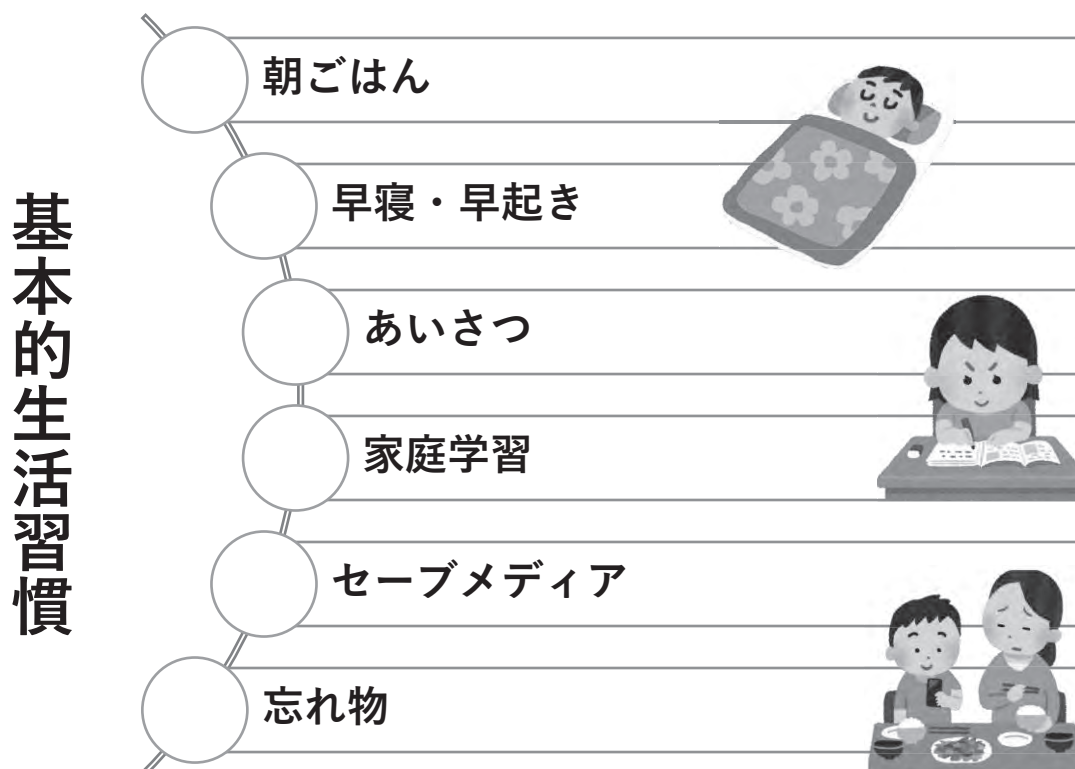
B. 協働イベント（e-Naフェスタ）での働きかけ

- 学校・地域・生徒・PTA会員で協働し、様々な想いを育みながら交流を図るイベントとして、e-Naフェスタを開催しました。

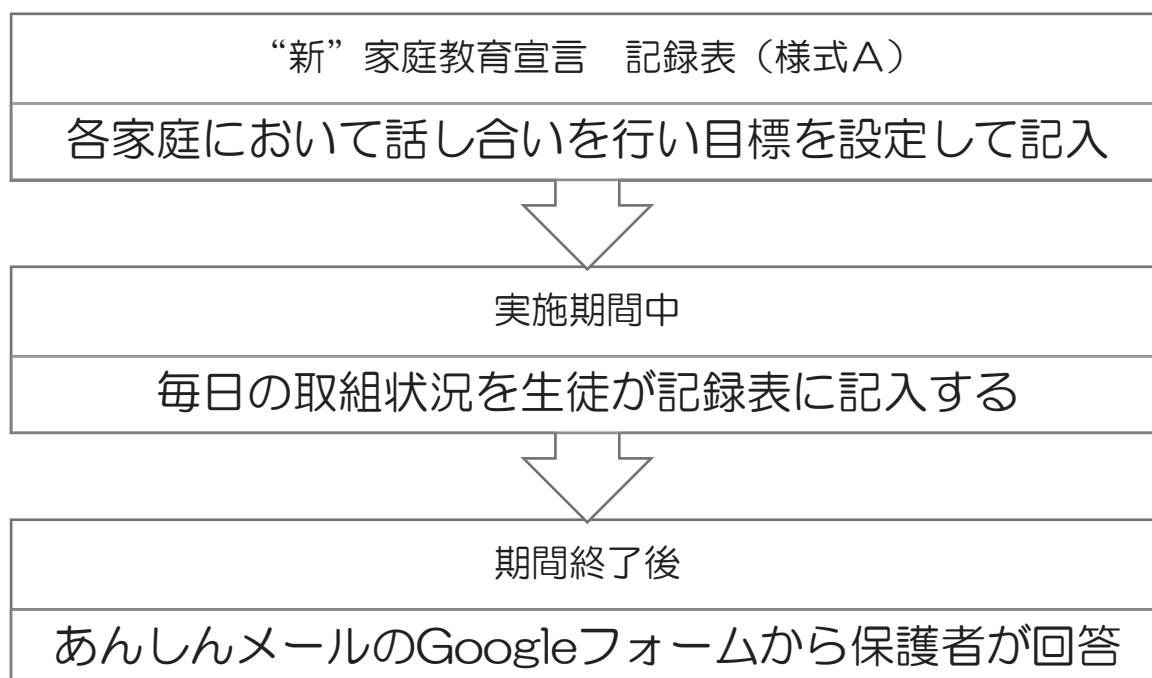


6－A．“新”家庭教育宣言の推進

「教育の原点は家庭にある」とも言われるため、家庭における「子育て力向上」を図ることを目的とし、また、親子による「対話の重要性」を再認識できる取組にもなっています。



【取組の流れ】



【記録表（計画）】

（様式A）

那珂川中学校PTA

“新”家庭教育宣言 記録表

年 組 番 氏名	出来たら○、出来なかったら×で記入						
実施日	8/26(月)	8/27(火)	8/28(水)	8/29(木)	8/30(金)	8/31(土)	
① 朝ごはん							
目標							
② 早寝・早起き							
目標							
③ あいさつ							
目標							
④ 家庭学習							
目標							
⑤ セーブメディア							
目標							
⑥ 忘れ物							
目標							

「セーブメディア」とは携帯電話・タブレット・テレビ・ゲームなどメディアの適切な使用時間を
（保護者の方へ）9月2日（月）～9月6日（金）の期間に学校安心メール（Googleフォーム）で回答



【取組を終えた生徒からの意見の抜粋】

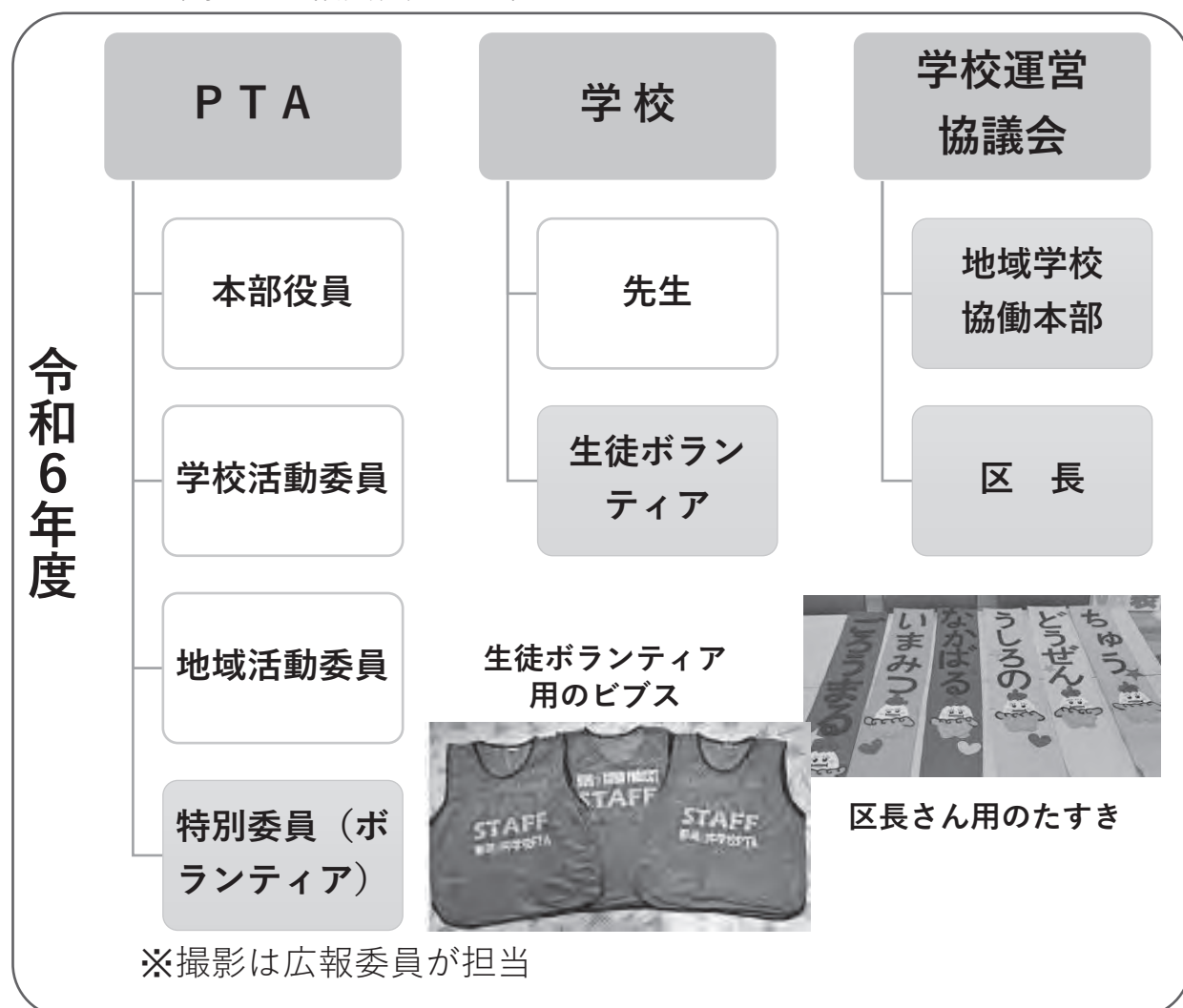
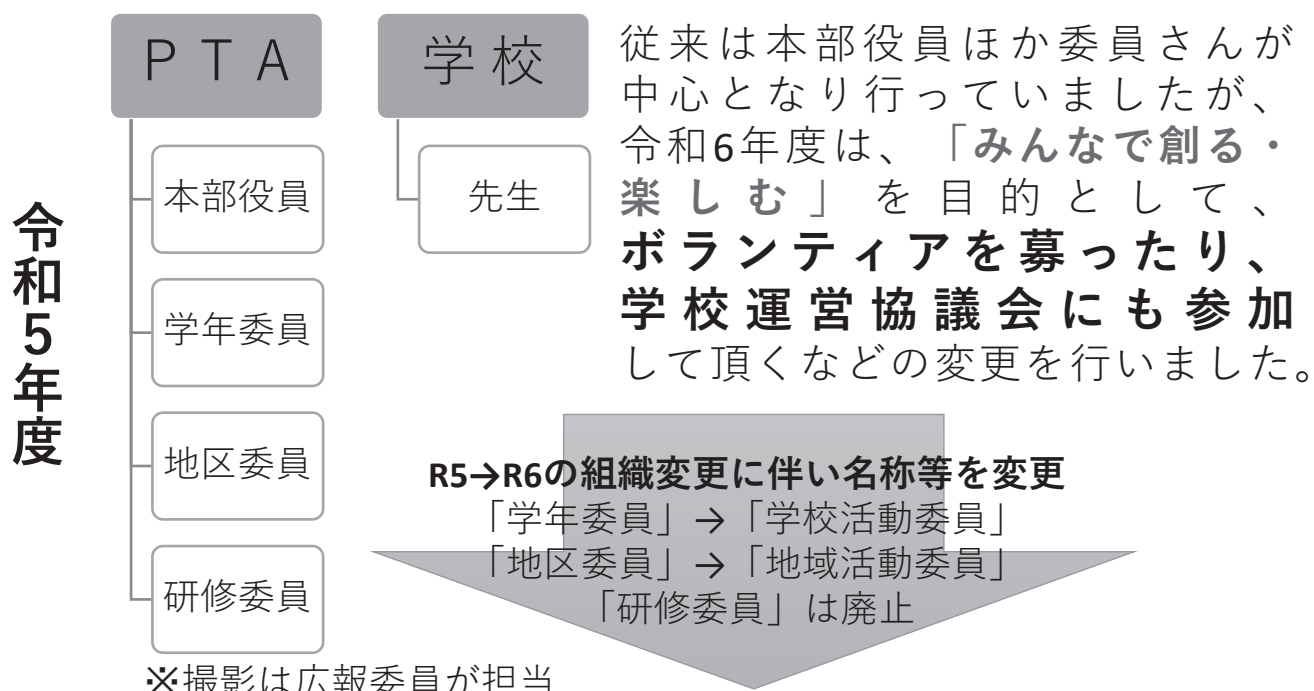
- ・小学生のときより生活習慣が乱れているなと思いました。
- ・目標を立てると意識して生活することができるので、これからも目標を達成できるように生活していこうと思います。
- ・この取り組みを通して規則正しい生活に加え、メディアの使用時間が減ったため、学習や読書のために時間を使うことができたのでとても良い取り組みでした。
- ・今回の取り組みでしっかりと生活習慣が整えられてよかったです。他

【取組を終えた保護者からの意見の抜粋】

- ・朝ごはんや早寝早起きなど、家庭でサポート出来る部分は家族も協力しながら向上させていきたいと思いました。日頃から意識して取り組めるように家庭でも頑張ります。
- ・セーブメディアに取り組んでいるときは会話が増えたように思います。
- ・テレビを消した時間は、家族で居間に集まりみんなで勉強したり、カードゲームで遊んだりして、家族の時間が持てました。他

6－B. 協働イベント（e-Naフェスタ）での働きかけ

「みんなで創る・楽しむ」をスローガンにして目的を共有し、学校・地域・生徒・PTA会員など様々な方と協力してイベントを行いました。



e-Naフェスタ当日の風景

▶オープニングムービーを全教室に流してフェスタを開催

「ナッピー」を探しに世界各地を飛び回り、最後は中学校に戻ってきて、ナッピー発見&フェスタ開催という内容です。

(BGMはスパイ大作戦(ミッションインポッシブル)の音楽)

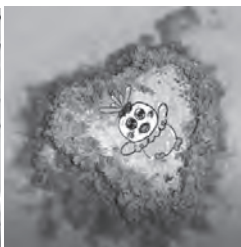
mission

生徒に指令が出された後、メッセージの消滅にあわせて、世界各地を冒険します！

なおこのメッセージは自動的に消滅する



社会の先生に協力して頂いた情報をもとにして、地理・歴史に関連する様々な場所が登場します。



新キャラクター
「ベビナッピー」

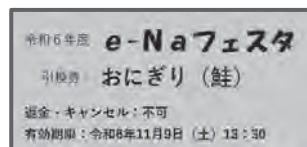
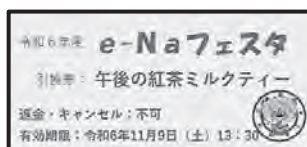


I am NAPPY

みんなで同じムービーを見ることにより、一体感を持った中で、令和6年のe-Naフェスタが始まりました！

校長先生にもご協力頂きました♪

▶各ブースの様子



交換チケット

事前に注文を受け、代金は領収済みのため、当日はチケットと飲食物の引き換え作業のみです。委員さんの負担軽減やフードロスの減少、生徒達の限られた時間の有効活用を図っています。



フェスタの看板や、商品の看板は美術部やボランティアの生徒による力作です



屋外では吹奏楽部による演奏会も実施



- 教室に限らず、仲間と好きな
- 場所で食事を楽しみました

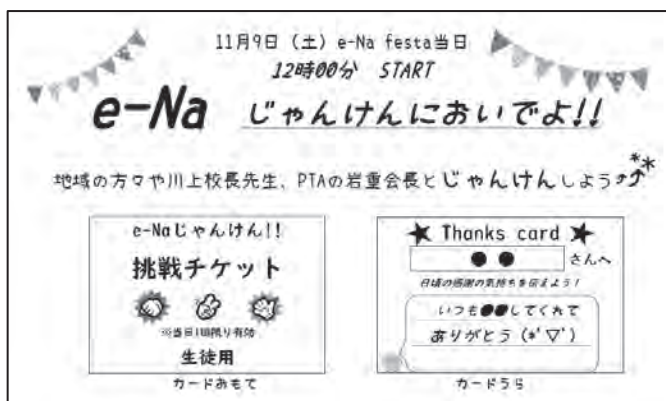
今年は、保護者や
ご家族の参加もOK！

▶地域学校協働本部がe-Naフェスタ初参加

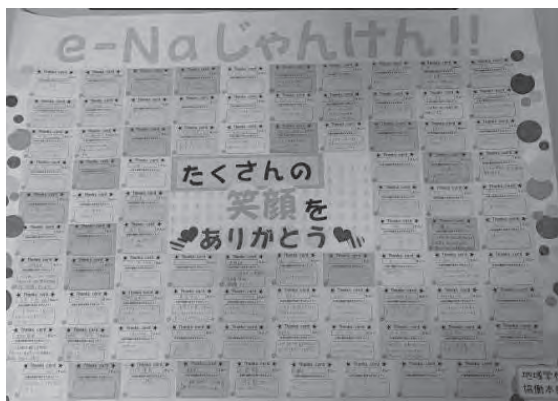


初企画「e-Naじゃんけん」を実施。校長先生やPTA会長、区長さんとのじゃんけん対決！

じゃんけんに勝つと、お菓子のつかみ取り



e-Naじゃんけんへの挑戦チケットの裏面は「サンクスカード」になっていて、誰かへの感謝の言葉が記入してあると、参加OK！



たくさんの「ありがとう」は後日、このようにして貼り出し、心温まる企画となりました☆



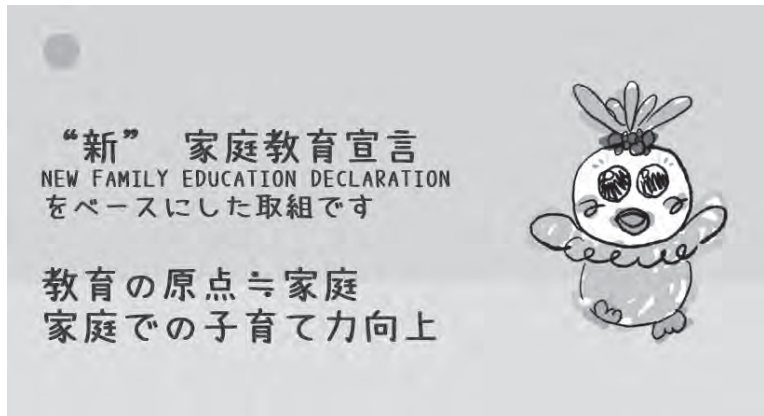
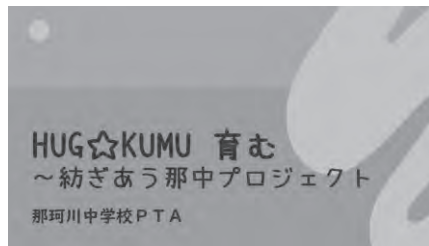
▶地域の方からご提供頂いたお米が当たる、無料抽選会も実施



保護者のみ参加OK



▶体育館イベント① P T Aによる 「HUG☆KUMU 育む～紡ぎあう那中プロジェクト～」の講演



“新”家庭教育宣言に基づいた取組を行うにあたってのポイントや対話の重要性について、生徒・保護者に説明を行いました。

▶体育館イベント② 吉本興業のお笑い芸人が参戦！ 「メリコンドル」による爆笑ライブを開催



冒頭で“新”家庭教育宣言に基づく内容についても触れてもらい、生徒参加型のイベントで沢山の笑いに包まれました(^^♪

7. 振り返り

「交流の機会」を出来るだけ設ける形で開催した今回のe-Naフェスタですが、交流が芽生えればそこに対話が生まれ、そしてお互いが理解し合えるきっかけにもなると思います。家庭は子どもにとって、一番身近にある小さな社会。まずはそこにある交流に目を向ける事そのものが、「“新”家庭教育宣言」の本来の意味を見出す鍵になるのではと思いました。

令和6年度
“新”家庭教育宣言実践報告会

【講 評】

福岡県教育庁教育振興部社会教育課

地域学校協働推進班長 坂本 真一 氏

“新”家庭教育宣言実践報告会【講評】

・・・令和7年2月8日（土）開催 令和6年度第4回「まなびのひろば」より・・・

みなさん、こんにちは。わたしは、福岡県教育庁教育振興部社会教育課の坂本と申します。
どうぞよろしくお願いいたします。

本日、御参会の皆様方におかれましては、日頃より本県の教育に御理解、御支援いただいていることに対しまして、厚く御礼申し上げます。

それでは、お時間をいただきましたので、本日発表された2校の取組について、講評をさせていただきます。

まず、筑紫野市立二日市小学校 PTA です。二日市小学校 PTA には、「みんなで通学路の安全を考えよう!～家庭での会話から生まれた、地域ぐるみの見守りマップ～」というテーマで発表していただきました。

学校が地域の方々と目標やビジョンを共有し、学校が地域と一体となって子どもたちを育まれている二日市小学校では、共育される児童だけでなく、「共育」する地域、保護者、教職員、全ての方々が「しあわせ」を実感できる学校を目指してあります。

令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、行動や活動に制限のかかった自粛を強いられた生活の中で、全国の学校や PTA の活動が大きな影響を受けました。二日市小学校においても、PTA を取り巻く環境がさらに大きくなったと報告されていましたが、PTA の方々の強い思いから、「子どもたちに大切な思い出や経験をつくる必要だ」と考えたことが、素晴らしいことだと思います。

今年度の PTA の活動として、3つの取組が紹介されました。

1つは、「身体が喜ぶ米や野菜の食べ方教室」です。普段、何気に食べているお米や野菜を、親子で食について学ぶ機会として提供したことがよかったと思います。

2つは、「体操服バザー」です。わたしは以前小学校に勤務していましたが、わたしの勤務していた地域では、このような取組を行っている学校はなく、どの学校でも取り入れることのできる参考になる取組だったと思います。

3つは、「情報発信」です。スマートフォンの普及により、だれもが気軽に SNS を活用している中で、インスタグラムを使って情報発信していることも、参考になる取組だったと思います。

(動画を見ての感想)

3つの取組が紹介されましたが、どの取組も、工夫を凝らした取組でした。

続いて、「"新"家庭教育宣言」に基づいた「みんなで通学路の安全を考えよう!～家庭での会話から生まれた、地域ぐるみの見守りマップ～」についての報告がございましたが、二次元コードをマップに掲載し、二次元コードを読み取ると、動画を見られるようにしていました。

新しいマップ作成のきっかけは、前回のものから月日が経っていたからと報告されていましたが、現状把握のための「ながら見守り強化週間」や「アンケート」の実施から、実際の声を活かしたマップが完成しています。このマップを全家庭への配布にとどまらず、自治会や公民館といった地域にも配布し、多くの人が活用できることが素晴らしいと思います。今後、インターネット上のマップにも動画を追加したいと考えられているみたいなので、期待をしています。

那珂川市立那珂川中学校 PTA の取組について講評をさせていただきます。那珂川中学校 PTA には、「HUG☆KUMU～紡ぎ合う那中プロジェクト～」というテーマで発表していただきました。

那珂川中学校では、PTAをはじめとする様々な関係者や団体、学校、地域とつながり、地域に開かれた学校づくりとなるように「学校運営協議会」の活性化を図り、コミュニティ・スクールの推進に務めておられます。

PTAの取組体制として、昨年度、今年度と大きな改正を行い、「未来へ持続可能なPTA」を目指しておられます。どうしても、わたしたちは前年度までのことを踏襲するということがありますが、昨今の状況を考えると、このように改正を行うことはとても重要なことであり、さらには、来年度も改正を行う予定とありました。このことは、なかなか真似をすることができませんが、このようにさらによりよいものにしていこうとする PTA の体制は素晴らしいことだと思います。

那珂川中学校は、「"新"家庭教育宣言」の活動内容として、2つのことに取り組まれました。

1つは、「"新"家庭教育宣言」の推進です。みなさんもお承知のとおり、福岡県 PTA 連合会では「家庭での子育て力向上」を目指して、平成 17 年度から「"新"家庭教育宣言」を行っております。この事業は、家庭において親子で相談しながら努力目標を宣言し、その実現に向けて家族ぐるみで取り組むものです。

那珂川中学校では、報告にもありましたように、「基本的生活習慣」の向上を目的として取り組まれました。取組後の生徒の感想から、「生活習慣の乱れ」や「目標を立てることで意識化することにより生活が整うこと」など、基本的生活習慣の重要性に気づききっかけとなりました。また、保護者の感想にも、「子どもへのサポート」や「家族との団欒」など、家族の在り方に

ついて、改めて考えるきっかけとなりました。すべての教育の出発点ともいわれる家庭教育の重要性を再確認できる素晴らしい取組であり、参考になる取組だったと思います。

2つは、「みんなで創る・楽しむ」をスローガンにして目的を共有し、学校、地域、生徒、PTA 会員など様々な方と協力して行った「協働イベント(e-Na フェスタ)での働きかけについてです。これまでの PTA 役員と学校の先生による取組から、役員以外の PTA や生徒から募ったボランティアや学校運営協議会に入っただき、今年度は拡大した組織となって「e-Na フェスタ」が開催されています。今後は、このような形式で各学校の行事を運営していくことが増えていくと予想されていることから、参考になったと思います。e-Na フェスタ当日は、冒頭で紹介された那珂川中学校のキャラクターナッピーではなく、新キャラクターの「ベビナッピー」を活用したオープニングムービーをみんなで視聴することで、一体感を持って、e-Na フェスタを開催するなど、工夫がなされていました。

各ブースでは、様々な組織の取組がスライドに示されていましたが、各ブースの様子からも、ここにいるみんなの一体感を感じることができ、とても楽しそうな様子が伝わってきました。わたしは、心が温まるサクスカードの取組がとてもいいなあと思いました。また、講演や爆笑ライブを行った体育館イベントは、話を聞くだけでなく、生徒参加型のイベントにして行ったことは、みなさんの学校でも取り入れることのできる参考になる取組だと思います。

最後に、二日市小学校 PTA、那珂川中学校 PTA に共通して出てきたコミュニティ・スクールについて、少し触れたいと思います。

コミュニティ・スクールが制度として導入されたのは 2004 年です。コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」という組織を設置している学校のことです。この協議会を通して、保護者や地域住民等が一定の権限を持って学校運営に参画することで、学校の教育目標やビジョンをみんなで共有し、ともに子どもたちを育て、よりよい学校づくりをしていくことを目的としています。また、最近では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とも言われています。簡単に申しますと、学校運営協議会ででてきた課題等を学校だけではなく、地域の方々の力を借りて解決していこうとする取組です。現在、福岡県内においても、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図った取組を行っている学校が年々増えてきております。

今回 2 校に発表していただいた内容は、とても参考になる取組であったと思います。今後も、継続して実施されることで、新たな学びを生み出し、持続可能なものとして取り組んでいただきますようお願いいたします、わたしの講評とさせていただきます。

二日市小学校 PTA、那珂川中学校 PTA のみなさん、貴重な取組の御報告、ありがとうございました。

福岡県PTA連合会



〒812-0046

福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎5階

TEL : 092-643-7766 / FAX : 092-643-7767

ホームページ

<https://fukuokaken-pta.jp>

